

第2回 PTA 運営委員会報道

R5.6.23 19:00~20:20

- 1 会長あいさつ 運動会へのお礼。原万田の事件に関する心配
- 2 校長あいさつ 運動会へのお礼。原万田の事件について、安心メールを出すことに迷いもあったが、まずは情報提供と対応をお願いした。
先週から「熊本大学」「大分県中津市」「熊本市教育委員会」などの視察を受け入れている。本校の取組（授業改革や学校運営協議会など）が広く注目されていることを誇りに思う。
- 3 報告事項
 - (1) 市P連関連 「親の学び」進行役養成講座：会長、研修委員長参加
 - ・長洲町の参加が多かった。長洲町では、講座を行うと30名ぐらいはすぐに集まるとのこと。本校でも学年活動に入り始めたところ。
 - (2) 各委員会報告
 - <体育>
 - 【運動会の反省について】
 - ・参加者のモラルは、昨年と比べて悪くなっていた。
 - ・来年度の観覧方法についての提案
「入れ替え制の廃止」「駐車場を開放しない」「駐車場には警備員を配置」など
 - 【親睦ビーチについて】
 - ・諸般の事情等を考慮し、本年度も開催しないことに決定
 - 【親子レクリエーションについて】
 - ・12月に開催予定（種目は未定）
- <学年>1年生 6/10（土）工作付き食育講座+メディアコントロール
 - ・楽しい時間が過ごせた。
 - ・参加が全体の約半数だった。学年活動の趣旨や内容を含めた周知方法の工夫が必要。
- 4 協議事項
 - (1) 見守りボランティアについて
 - ・地域学校協働活動推進員の田添さんから提案。見守りボランティアの輪を保護者にも広げてはどうか？名札のようなものを首からかけて、自宅近辺を散歩などをしながら見守るスタイル→チラシを配付するなどして賛同者を募っていく
 - (2) 今後のPTAについて
 - ・PTAに関する会員へのアンケート素案を提示
 - アンケート内容や項目について意見交換を行う
 - 「PTAとは何か？など、そのものの意味を理解してもらう必要がある」
 - 「事前に周囲に聞いてみると委員会数を減らして規模縮小の意見が多かった」
 - 「PTAの取組を周知させたいが、情報が届かない。届ける方法を考える必要がある」
 - 「誰かがするだろうという依存性が課題。当事者意識を持つ手立てを考える」
 - ・PTA執行部で再度アンケート内容等を検討する
 - ・今回の協議を経て、各自考えをまとめておく。次回再度意見交換をする。

以上